学びいっぱい・笑顔いっぱい・仲間いっぱい・元気いっぱい

ひろっこ

呉市立広小学校
令和2年6月12日
NO7　文責　校長　枝長真智子

自分の命は自分で守る

自然の仕組みを学ぶ（６年生）

６月５日（金），土砂災害避難訓練を実施しました。早いもので西日本豪雨から２年が経ちました。この災害の教訓を生かし，呉市では，「自分の命は自分で守る」ことができるよう，土砂災害に備え，様々な取組をしています。本校でもその取組の一環として，土砂災害から身を守るための垂直避難の訓練を行いました。

昨年度までは，命を守るためには大切な訓練や学習であり，全校で一斉に避難訓練を実施していました。しかし，今年度はコロナウィルス感染症防止の観点から，できるだけ多人数で集まりを避け，密にならないように実施する必要があると判断し，学年別に変更し行いました。

避難訓練後，自主防災アドバイザーの井上先生の講話による授業を行いました。発達段階に応じて，自然災害についてその仕組みや身の守り方を写真や動画を使って説明してくださいました。大雨で川が増水する様子や土石流が押し寄せる様子の動画を見たり，クイズで考えたりする場面では，驚きやつぶやきなど様々な反応が見られました。どの学年も最後まで，パワーポイントの画面に見入ったり，井上先生の話を真剣に聞いたりすることができました。

真剣に話を聞く（４年生）

このような避難訓練や講話を通して，土砂災害や水害から身を守るために，学校では「できるだけ速く，できるだけ高い所に逃げる」という意識を定着させるようにしています。自然災害はいつ起こるか分かりません。登下校時や家に帰った時，「どこに」「どのように」避難するのか，家庭でも日頃から確認し，いざという時に子供が自分の命を自分で守ることができるよう，よろしくお願いします。

自分で考える（３年生）

クイズで学ぶ（１年生）

※裏面もあります。

【児童の感想より】

今日は，ひなん訓練がありました。改めて，自然災害のおそろしさに気がつきました。帰ったら，お母さんやお姉ちゃんとちゃんと話をしようと思います。

川の水が土や木といっしょに流れている映像を見て，車の走る速さといっしょでそんなに速いんだなと思いました。風の力だけで，電柱が折れていて，こわいなと思いました。今回やったひなん訓練のことをわすれないようにしたいです。

防災士の井上さんの話を聞いて，すごく命は大切だと思いました。船津神社の階段がくずれたり，山がくずれたりしたのを見て，土砂災害がどれだけこわいか知っているので，もう起きてほしくないと思っています。一日一日を大切にすごそうと思いました。

わたしは，防災士の井上さんにいろいろなことを教わりました。井上さんが言われたとおりに，ハザードマップを見て，黒瀬川がはんらんしたら，こっちまでくるかを家ぞくでそうだんしたいと思います。もし，災害が起きたら，井上さんが言ったことを思い出して，ひなんしたいと思います。

警報発令時について

６月１０日頃，中国地方が梅雨入りしました。今年は，西日本を中心に，大雨傾向が予想されており，注意・警戒が必要です。年度当初に文書でお知らせしましたように，警報発令時は次のような対応になりますので，各家庭で確認・対応をお願いします。

○　６時３０時点で，警報が１つでも出ていたら臨時休業になります。
（気象庁の発表かＮＨＫの情報で，呉市の警報を確認してください。）

○　６時３０分～８時１０分の間に，警報が１つでも出た場合も，臨時休業になります。すでに登校中や登校した児童は学校待機，保護者の方のお迎えをお願いします。給食は実施できません。

○　８時１０分以降，警報が１つでも出たら，その後の状況により「教職員の見守り体制下の一斉下校」「保護者のお迎え」等を行います。

○　緊急時には関係機関等との連携が必要なため，各自での警報やメールの確認により，学校への電話での問い合わせを控えていただくようお願いします。

○　警報発令時の家庭での過ごし方は，学校でも指導したり，メールやホームページでも配信したりしますが，雨の日は水量が増えるので，川や水路，溝などに絶対に近づかないよう，家庭でもご指導をお願いします。